

平成19年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
1-1	まちづくり推進事業運営支援事業	継続	平成11年度	地域振興課

1 事業概要

事業実施主体	地域振興課		対象者	区民		当初予定事業 緊急対応事業			
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他( )	関連事業局 ・事業内容							
目的及び内容	<p>事業目的:「区づくり白書」「都市計画マスタープラン中原区構想」に提言されている課題を実践するため、委員会活動を支援し区民との協働のまちづくりを進める。</p> <p>事業内容:「中原区まちづくり推進委員会」「なかはら20年構想委員会」「自転車と共生するまちづくり委員会」において、地域の課題解決に向けたより専門的な活動のための技術支援や委員では作れない高い技術を要求する広報資料作成等の支援を行う。</p>								
予算額	8,873,000(円)	決算額	8,846,298(円)	不用額	26,702(円)				
不用の理由									
結果・成果	<p>【事業実施状況・成果物などの写真等】</p>  <p>(発行したまちづくり通信)</p>	<p>まちづくり推進委員会では、区民交流センター「なかはらっば」の立ち上げに伴う体制づくりや月一まちづくりサロンの実施、地域のイベントでの昔遊びを通じたコミュニティ形成などが図れた。また、3委員会が主体となり市民活動の集いの企画・運営などを行うことにより、昨年度を大幅に上回る盛況なイベントとすることができた。なかはら20年構想委員会では、散策コース看板設置に積極的に関与することにより区の魅力発信に寄与することができた。自転車と共生するまちづくり委員会では、引き続き放置自転車問題に取り組み啓発活動を推進することができた。</p>				実施時期 (開催日/回数等)	平成19年度	参加 人数等	

2 事業評価

<p>評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)</p> <p>平成19年度から、コンサルタントをより実践活動及び広報活動に造詣の深い業者に変え各委員会に対し技術支援等のコンサル業務を行った。</p> <p>これにより、活動が行き詰らないようにアイデアの提供等を行い委員会における議論が活発になり、委員会活動の幅が広がった。広報等についても分かりやすいものになり、関係委員からも評判が高い。</p>
---

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	行政と委員会の協働という点において、平成20年度より、コンサルの契約を分け、活動をより実践的にして、活動の自立をはかり、各委員会の独立性をよりいっそう高めていく。

区民会議からの主な意見

--

平成19年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
1 - 2	まちづくり推進実践活動支援事業	継続	平成11年度	地域振興課

### 1 事業概要

事業実施主体	中原区まちづくり推進委員会	対象者	区民	当初予定事業 緊急対応事業
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他( )	関連事業局 ・事業内容		
目的及び内容	中原区まちづくり推進委員会の各部会で提案されているまちづくり実践活動のプロジェクト活動の活動費用について支援を行い、まちづくり実践活動の推進を図る。 昔遊び、マナーモラル、美化活動、茶話会(まちづくりサロン)、武蔵中原駅脇地下道、新規プロジェクト立ち上げに対し活動費用の支援をする。			
予算額	817,000(円)	決算額	801,955(円)	不用額 15,045(円)
不用の理由				
結果・成果	<p>【事業実施状況・成果物などの写真等】</p>  <p>(マナーモラルポスター展の様子)</p>	<p>中原区まちづくり推進委員会の課題発見解決部会のプロジェクトではマナーモラルを呼びかけるポスターの募集および展示、地下道を利用しやすい空間にするために掲示場所の拡大、落書き消し、イベントでの昔遊びなどを行った。</p> <p>支援広報部会ではホームページ「ナプロコ」の運営、中原まちづくり通信の発行、まちづくりサロンの開催を行った。また、区民交流センター「なかはらっば」立ち上げに協力し、運営者として区役所と協定を結び、中間支援組織として多数のなかはらっば登録団体に活動紹介の場を提供している。年度途中でマナーモラルポスター作成等のため、緊急対応経費として117,000円を追加した。</p>		
	実施時期 (開催日/回数等)	各部会月1回程度	参加 人数等	

### 2 事業評価

評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)
<p>マナーモラルのポスターを小中学生対象に募集する事により、より幅広い年齢にマナーモラル意識をもってもらい、また地域と協力し中原駅脇地下道を清掃し、ポスターを展示した結果、地域の人が安心して地下道を通れるようになった。広報活動では、まちづくり通信の発行を行い広く活動を広報している。また、区民交流センター「なかはらっば」運営について区と協定を結び、中原区まちづくり推進委員会が運営を行っている。また、交流サイトを有効活用することにより団体活動紹介の場ができ、それにより市民活動団体の活動を他の団体や区民に知ってもらうことで、まちづくりの体制強化につながっている。</p>

### 3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	平成19年度からの事業を継続していくと共に、技術支援等の手法を改善することで、委員会としての独立性を高めていけるようにする。

### 区民会議からの主な意見

--

平成19年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
1 - 3	「区民の手で花いっぱい中原」事業	継続	平成8年	地域振興課

1 事業概要

事業実施主体	花クラブ実行委員会		対象者	区民		当初予定事業 緊急対応事業
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他( )	関連事業局 ・事業内容				
目的及び内容	<p>公募区民で組織された花クラブ実行委員会が率先して、公用地である武蔵小杉駅周辺、中原図書館、中原区役所正面、中原区役所周辺、武蔵中原駅周辺の5箇所に年2回花の植栽と日々の管理作業を行うことで、地域住民や通行人に安らぎの場を提供すると共に、区民が主体となった「花による潤いのあるまちづくり」の実現を目指していく。</p> <p>また、実行委員の技術力の向上と区民への活動の啓発を目的に、研修や講習会を行う。</p>					
予算額	1,520,000(円)	決算額	1,506,525(円)	不用額	13,475(円)	
不用の理由						
結果・成果	<p>【事業実施状況・成果物などの写真等】</p>  <p>(植栽活動の様子)</p>		<p>夏の猛暑の中の水遣りなど日々の努力や植栽作業において花壇のデザイン等に工夫を凝らし街並みの景観向上を図ると共に、植栽イベントに指導者として積極的に協力することで、本事業の推進に努めた。</p> <p>また研修では、日々の管理作業の参考として他都市(千葉市)の植栽活動や取り組みを見学に行くことで、当区との比較に基づき新たな視点での花壇作り行うことができた。</p>			
	実施時期 (開催日/回数等)	通年	参加 人数等	35人		

2 事業評価

評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)
<p>公募区民が公用地に出向いて、日々の維持管理作業や植栽作業を行うことで「花による潤いのあるまちづくり」を協働にて推進することが出来た。</p> <p>11月の区役所正面玄関脇で実施した「親子で楽しむ土いじり」イベントでは、植栽の指導者としての役割を果たし、参加者に効果的に本事業の趣旨を理解してもらうことができた。</p> <p>植栽場所が公用地と限定されている部分はあるが、本事業を効果的に推進していくうえで当委員会の取り組みが地域住民や通行人の関心を引くと同時に区内に安らぎの場づくりを行うと共に、協働での事業実施にあたり実践部分を担っている役割は十分に評価できる。</p>

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	<p>上記評価のとおり、本事業を実践する当委員会は有意義な取り組みを行っており、今後も継続していく必要がある。</p> <p>別掲の「区役所敷地内花壇の親子植栽体験」事業について、趣旨や方向性が本事業の内容として合致することから20年度より統合して実施する。</p>

区民会議からの主な意見

--

平成19年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
1 - 4	区役所庁舎内飾花事業	継続	平成11年度	地域振興課

1 事業概要

事業実施主体	中原区文化協会	対象者	来庁者	当初予定事業 緊急対応事業
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他( )	関連事業局 ・事業内容		
目的及び内容	来庁者が安らぎを感じられるような親しみやすい区役所の雰囲気作りを目的として、中原区文化協会の華道部に所属する5流派に依頼し、生けた花を区役所庁舎1階ロビーに年間を通じて展示する。			
予算額	300,000(円)	決算額	300,000(円)	不用額 (円)
不用の理由				
結果・成果	【事業実施状況・成果物などの写真等】 	区役所1階の区民課6番窓口前に、月曜日に生け、金曜日に撤去し週単位で異なる生花を生けている。中原区文化協会の華道部が各々の作品を競いあい、毎回斬新かつ質の高い花が展示されている。また、花は季節によって種類が変わってくるため、その時期に合わせた花が常に目に触れる場所に置かれていることで、フロアに季節感を与えている。		
	(生け花展示の様子)	実施時期 (開催日/回数等)	通年	参加 人数等

2 事業評価

評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)
<p>庁舎1階は区役所の中でも最も多くの区民が訪れる場所であり、繁忙期など窓口対応を待つ時間に対して、フロア内に毎週新しい花を生けることにより、区役所内の雰囲気作りをするとともに、応待待ちをしている来庁者の目を楽しませ、安らぎを与える効果もあるという点で有意義と言える。</p> <p>「安らぎと親しみ」を与えるという意味では、戸籍の届出記念として花を背景に写真を撮る来庁者の姿なども見られたことから、成果を挙げていると考えられる。</p>

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	本事業は上記のような成果が見られることから、今後も継続して花を展示していく。

区民会議からの主な意見

--

平成19年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
1 - 5	パンジーの花回廊推進事業	分割	平成15年	地域振興課

1 事業概要

事業実施主体	なかはら20年構想委員会	対象者	一般区民	当初予定事業 緊急対応事業		
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他( )	関連事業局 ・事業内容				
目的及び内容	「都市計画マスタープラン中原区構想」の「もっとすてきななかはら」の実現に向けたなかはら20年構想委員会の活動費用について支援を行う。特に花回廊構想(「中原区らしさを活かした花の景観づくり」)の実践や中原区の魅力発信に関する活動について支援を行うと共に経費管理等の自立を促すことを目的に実施する。					
予算額	300,000(円)	決算額	295,044(円)	不用額 4,956(円)		
不用の理由						
結果・成果	<p>【事業実施状況・成果物などの写真等】</p>  <p>(まち歩きの様子)</p>	<p>平成18年度に作成した「なかはら歴史と緑の散策マップ」を活用して、一般区民の参加を募りまち歩きを行った。</p> <p>花回廊構想の新たな展開を図るため、「花ふれあいフェスタ」を花クラブ実行委員会と共催し、花の見どころマップの情報収集を実施した。</p> <p>20年後の中原区を区民がどんなイメージを持っているか、区民祭で「都市計画マスタープラン中原区構想」を分かりやすく伝えると共にアンケート調査を実施し、今後の活動の方向性を探った。</p>	実施時期 (開催日/回数等)	通年	参加人数等	-

2 事業評価

評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)
<p>平成18年度に作成した「なかはら歴史と緑の散策マップ」を活用して、「歴史の道探訪 中原街道コース」のまち歩きを、なかはら街道時代まつりと同日に行うことで多くの区民に参加してもらうことができ、中原区の魅力発信の一助となったことは新たな取り組みとして評価できる。</p> <p>また、花クラブ実行委員会と共催で「花ふれあいフェスタ」を、今後の花回廊構想の実現に向けた取り組みとして、新しい視点で実施できた。</p> <p>区民祭に出展し「都市計画マスタープラン中原区構想」を区民に身近に感じてもらうと共に、広く意見を聞くことが出来たので有意義であった。</p>

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	<p>様々な活動を展開することができたが、再開発地域等の新たな区民に向けた魅力発信という視点での活動や都市計画マスタープランを念頭においた20年後のまちづくりへ繋がる実践活動も模索していく。</p>

区民会議からの主な意見

--

平成19年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
1 - 6	自転車と共生するまちづくり事業	継続	平成13年度	地域振興課

1 事業概要

事業実施主体	自転車と共生するまちづくり委員会		対象者	一般区民		当初予定事業 緊急対応事業
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他( )	関連事業局 ・事業内容				
目的及び内容	自転車と共生するまちづくり委員会が推進する駐輪マナー呼びかけ実践活動に対し活動経費の支援を行うことによって、啓発グッズやパンフレットの作成といった運動促進を図り、より効果的な活動へと結びつけることを目的に実施する。					
予算額	300,000(円)	決算額	299,949(円)	不用額	51(円)	
不用の理由						
結果・成果	【事業実施状況・成果物などの写真等】 		自転車と共生するまちづくり委員会は、駐輪マナーを呼びかけるとともに、近くの距離ならば自転車を使わず徒歩で移動するという手段を訴えることによって、放置自転車問題の解決を図っている。 早朝に実施する放置自転車対策呼びかけ運動のほかに各種イベントへ参加し、また、オリジナルの啓発グッズを掲示・配布することで放置自転車問題を利用者に知らせ、協力を呼びかけたことで、近隣町会からも賛同・協力申し出の声が上がるようになった。			
	(商店街での呼びかけ活動の様子)		実施時期 (開催日/回数等)	通年	参加 人数等	約15人

評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)

自転車と共生するまちづくり委員会が活動拠点とする武蔵小杉駅周辺は、全国でもワースト10にランキングされるほど放置自転車が大きな問題となっている地域である。また、大規模なマンション開発などで今後も急激な人口増とともに更に自転車問題が深刻になることが予想される。  
このような状況の中、区と協働にて自転車問題に取り組み、区民自らできることとして、駐輪所スペースの絶対的不足に対応するために「近い距離ならば徒歩で移動する」という解決手段を呼びかけ、製作物の展示や配布によって周知を図った結果、当活動への理解が広まっていることが各種アンケート結果などに反映されるようになった。

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	これまでも自主的な解決法や啓発グッズの作成を行ってきたが、今後はノウハウやグッズの提供といった手段により、区内各地域に活動を広げていくように改善する。

区民会議からの主な意見

--

平成19年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
1-7	散策コース案内板設置事業	新規	平成19年	地域振興課

### 1 事業概要

事業実施主体	地域振興課		対象者	一般区民		当初予定事業 緊急対応事業
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他( )		関連事業局 ・事業内容	-		
目的及び内容	平成18年度の協働推進事業でなかはら20年構想委員会が作成した「なかはら歴史と緑の散策マップ」の完成に合わせ、区内の名所や史跡を巡る際の道標となる案内板を設置する。 3ケ年で散策マップに記載したコース全般にわたって設置できるように計画的に進めていく。					
予算額	1,197,000(円)	決算額	1,195,950(円)	不用額	1,050(円)	
不用の理由						
結果・成果	【事業実施状況・成果物などの写真等】 		より区民ニーズに合った案内板を作成するために、「なかはら歴史と緑の散策マップ」を作成したなかはら20年構想委員会と設置場所、デザイン等の協議を行い、JR東日本旅客鉄道株式会社(南武線)と調整を行い、武蔵新城駅と平間駅に設置した。			
	(新城駅に設置された案内看板)		実施時期 (開催日/回数等)	3月21日	参加 人数等	-

### 2 事業評価

評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)
「なかはら歴史と緑の散策マップ」を活用して、区内の名所や史跡を巡る案内板を設置したことは、再開発等で増加した新住民に対しての中原区の魅力発信として有意義な事業である。 駅に設置したことで、より多くの区民に対して魅力発信できたという点は効果的であり、残るコースの紹介については今後2年計画で区内各駅に設置する。

### 3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	平成20、21年度で区内の残りの駅に設置をするために、関係機関、鉄道事業者と調整のうえ計画的に進めていくと共に、小さな道標などコース毎の特性を考慮した案内についても検討していく。

#### 区民会議からの主な意見

--

平成19年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
1 - 8	中原市民活動の集い開催事業	継続	平成17年度	地域振興課

1 事業概要

事業実施主体	中原市民活動の集い実行委員会	対象者	区民	当初予定事業 緊急対応事業
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他( )	関連事業局 ・事業内容		
目的及び内容	市民活動グループに対して日ごとの活動成果を発表する場、グループ間の交流の場、区民への呼びかけの場を提供し、区内市民活動の活性化を図ると共に、地域の人と市民活動団体との交流、普段市民活動に触れる機会が無い人への市民活動に触れる場の提供を目的とする。 3回目となる今回は、「なかはらを知ろう」のテーマを掲げ、小学生をターゲットとした企画を中心に行った。			
予算額	450,000(円)	決算額	441,401(円)	不用額 8,599(円)
不用の理由				
結果・成果	<p>【事業実施状況・成果物などの写真等】</p>  <p>(イベントの様子)</p>	<p>「中原市民活動の集い」は、平成17年より実施されていて、今回で3回目の実施となるイベントである。 3回目となる今回は、平成18年度の参加団体による実行委員会を立上げ、「なかはらを知ろう」をテーマに市民活動、音楽、子供の視点から企画を作り上げ、親も含めた多方面に訴えることが出来た。 当日は、多くの区民が中原市民館に来場し、絶好の交流の場となった。</p>		
		実施時期 (開催日/回数等)	7月19日、20日	参加 人数等 850人

2 事業評価

評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)
<p>普段市民活動に馴染みのない層に来場してもらい気軽に市民活動に触れてもらう機会を創出するという目的を達成することが出来、アンケート結果からもそれらの事を検証する事が出来た。商店街と連携した広報の配布、地域の活動団体等に舞台を提供する事により、閉塞しがちな市民活動と他団体との連携を図れたことは今後の方向性を考える上で有意義であった。 実行委員や一般参加団体として参加していたメンバーからも、概ね今回のイベントは好評を得る事が出来た。</p>

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	<p>「中原市民活動の集い」は区民に市民活動団体の活動を知ってもらう場として有効的な場である。 平成20年3月にオープンした「なかはらっぱ」を有効活用し、多数の登録団体も巻き込んだイベントとなるよう努める。</p>

区民会議からの主な意見

--